

StuI

I. 認識配列

5'.....AGG▼CCT.....3'
3'.....TCC▲GGA.....5'

II. 保存

-20°C

III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 μ l 中、1 μ g の λ (*dcm*⁻) DNA を 37°C、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

IV. 起源

Streptomyces tubercidicus

V. 形状

50 mM KCl
10 mM Tris-HCl (pH 7.5)
0.1 mM EDTA
1 mM DTT
0.2 mg/ml BSA
50% Glycerol

VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37°C
・バッファー : M

50 mM	NaCl
10 mM	Tris-HCl (pH 7.9)
10 mM	MgCl ₂
1 mM	DTT

VII. 添付品

・10 x M Buffer (水色ラベル)
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	100	100	50	100	100

IX. 純度

本酵素 20 units と 1 μ g の λ (*dcm*⁻) DNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

X. 結合試験

本酵素で完全に切断された λ (*dcm*⁻) DNA フラグメントの 80% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 100% が本酵素で再切断される。

XI. 備考

- ・認識配列の前後に続く配列が *dcm* MTase によってメチル化されている場合、本酵素で切断できない場合があります。
- ・制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。